



## 卓 話

### 塚本茂樹 会員

2011年3月11日14時46分18秒に発生した東北地方太平洋沖地震は、日本の観測史上最大のマグニチュード9.0を記録した。この地震により、場所によっては波高10メートル以上、最大遡上高38.9mにもなる大津波が発生し、東北地方の太平洋沿岸部に壊滅的な被害をもたらした。また地震の揺れや液状化現象、地盤沈下などによって、広大な範囲に被害が発生し、各種ライフラインも寸断された。2011年5月11日時点で、震災による死者は14,981人・行方不明者は9,853人、建築物の全壊・半壊は合わせて10万棟以上、避難者は115,098人(ピーク時の避難者は40万人以上)、停電世帯は800万戸以上、断水世帯は180万戸以上に上った。

また、今回の震災では自衛隊が10万人を越える規模での災害派遣を行っている。地震と津波による被害を受けた東京電力福島第一原子力発電所では、全電源を喪失して原子炉を冷却できなくなり、大量の放射性物質の放出を伴う重大な原子力事故が発生した(福島第一原子力発電所事故)。これにより周辺一帯の住民は長期の避難を余儀なくされている。その他の発電所でも損害が出たため、関東・東北地方は深刻な電力不足に陥った。発災直後は、テレビや新聞等の報道は、すべて震災関係一色でしたが、同じ日本で、このような大災害が起きていることが想像できませんでした。被災地では、地震、津波、原発事故に加え、風評被害の四重苦に苦しめられています。震災から2ヶ月が過ぎ、直接被害を受けていない地域でも影響が出始めています。しかしながら、被災地の復興の道筋はまだまだ見えてきていないのが現状です。

震災関係動画の紹介

■ 東日本大震災 1万人を救った声

<http://www.youtube.com/watch?v=QMII1L8mB5ps>

■ 日本では放送できない 報道できない 震災の裏側

<http://www.youtube.com/watch?v=zrJje5pTZ0A&feature=related>

■ 知られざる英雄たち - 東日本大震災の復興に

[http://www.youtube.com/watch?v=m5MPg\\_QzP4s](http://www.youtube.com/watch?v=m5MPg_QzP4s)

■ 【東日本大震災】【津波】今迄見た中で一番衝撃的な大津波の映像

[http://www.youtube.com/watch?v=GtG\\_e9pwWmk&feature=related](http://www.youtube.com/watch?v=GtG_e9pwWmk&feature=related)

■ 【ありがとう自衛隊さん！】東日本大震災 陸上自衛隊災害派遣の記録

<http://www.youtube.com/watch?v=5XxSxpP1Puw&feature=related>

新聞報道紹介

東日本大震災:「顔が水より冷たく…」被災児童が日記

「お父さんが軽トラでもどっていった姿を見ました。津波にのみ込まれませんように。そう祈っていました」。巨大地震と大津波が東日本を襲ったあの日、子供たちは何を見、その後をどう生きたのか。岩手県山田町の町立大沢小学校を3月に卒業した箱石佑太君(12)が毎日小学生新聞に寄せた体験日記には震災と向き合う姿が率直につづられていた。

◇3月11日

卒業式の歌の練習をしていました。とてもゆれの大きい地震が来ました。最初は単なる地震だと思っていました。大津波警報が出ても、どうせこないと思っていました。来たとしても10センチメートル程度の津波だと思っていました。全然違いました。ぼくが見たのは、国道45号線を水とがれきが流れているところです。お母さんとお父さんが津波が来る前に大沢小に来ていたところは見ました。だけどその後、お父さんが軽トラでもどっていった姿を見ました。お父さんのことが不安でした。車を運転しながら津波にのみ込まれませんように。そう祈っていました。

◇3月18日

津波から1週間。お母さんは、もうこんなに日がたっているのに、まだお父さんが見えないとあきらめていました。じいさんは泣いて「家も頑張って建てるし、おまえたちだってしっかり学校にいかせられるように頑張るから、お父さんがもしだめだとしても頑張るからな」と言っていました。

◇3月23日

卒業式でした。「ありがとう」の歌を歌っている時、お父さんに「お父さん、お父さんのおかげで卒業できたよ。ありがとう」と頭の中で言いました。そしたらなぜか、声がふるえて涙が少し出てきました。その夜、こんな夢を見ました。お母さんとお父さんが宮古のスーパーマーケットから帰ってきた夢でした。

◇3月25日

親せきの人の携帯に電話がかかってきました。内容は、お父さんらしき人が消防署の方で見つかったということでした。急いで行ってみると、口を開けて横たわっていたお父さんの姿でした。ねえちゃんは泣き叫び、お母さんは声も出ず、弟は親せきの人にくっついていました。顔をさわってみると、水より冷たくなっていました。

ぼくは「何でもどったんだよ」と何度も何度も頭の中で言いました。「おれがくよくよしてどうすんだ」と自分に言いました。でも、言えば言うほど目がうるんでくるばかりです。お父さんの身に付けていたチタン、東京で買った足のお守りや結婚指輪、携帯。そして驚いたのが時計が動いていたことです。お父さんの息が絶えた時も、津波に飲み込まれている時も、ずっと。お父さんの時計は今ほくのものになっている。ぼくがその時計をなくしたりすることは一生ないだろう。



◇3月26～27日

見つけた時のお父さんの顔。まだ頭のどこかで見なきゃよかったと。でも見つけたおかげで火葬もできるし、お父さんをさわる事ができた。お父さんの体は水を飲んだのか胸がふくらんでいるだけだ。やっぱり見つけてよかった。

◇3月28日

きょうは火葬の日。ぼくとねえちゃんとお母さんとけいじろうは、手紙を書いて、お父さんと一緒に入れてやりました。拜んでいる時ぼくは「箱石家は頑張って継ぐからまかせて」と言いました。お墓に骨を埋めるまで、ぼくに骨を持たせてくれました。骨をうめてホッとしました。

◇4月7日

きょうは、ありがたいと心から言える日でした。お父さんとぼくたちの記事を見て、お父さんが東京マラソンを走った時の写真とお手紙を新聞の人が持ってきてくれました。ぼくたち家族に贈る言葉や、さらにはぼくに贈る言葉の手紙もありました。やっぱりお父さんはすごい。今日は本当にありがたい日だ。

\* \*

箱石君は25日、155人の仲間と一緒に町立山田中学校に入学した。日記は、大沢小の子供たちが復興に立ち向かう様子を紹介する「大沢からの報告」として毎日小学生新聞に11日に掲載。「何回も読み、涙が止まりません。皆様が少しずつでも前に進める日がくることを願っております(2人の子を持つ東京都北区の女性)とのメールが届くなど大きな反響を呼んだ。「大沢からの報告」は同紙で随時掲載され、今回は5月11日の予定。

毎日小学生新聞に11日に掲載された箱石裕太君の日記。あまり目にする事のなかった被災した児童の声に胸が熱くなりました。その小さなからだの中いっばいに、かれらはそれぞれに普通の大人たちでさえ耐えきれない思いを抱えて、未来を見つめています。

## 幹事報告

幹事 大角道雄

1. 本日例会は 次年度の為のクラブフォーラムです。
2. 次回例会はロータリー情報 辻孝範委員長に情報集会報告です。
3. 5月14日 地区協議会ご出席の皆様ご苦勞様でした。
4. 18日情報集会出席の皆様ご苦勞様でした。20日21日の情報集会参加の皆様 よろしく願い致します。
5. 5月29日の第55回滋賀県肢体不自由児者福祉大会と公開シンポジウム参加 よろしく願い致します。
6. 第11回理事役員会報告

◆前回議事録承認の件

※ 全員一致で承認

◆新入会員入会申し込み受理承認の件

※ 2名の入会申し込み受理全員一致承認

◆岩根小学校ほたる学習会への後援について

※ 全員一致で承認

## 地区協議会

5月14日国際ロータリー第2650地区2011～2012年度地区協議会が京都の国際会議場にて開催されました。ご出席いただきました皆様ご苦勞様でした。

